

総務課ではどのような仕事をしていますか？

町の広報誌の作成や、役場内で使用しているパソコンやプリンター等の管理・トラブル対応を担当しています。広報誌の作成では、記事のデザインや、印刷会社とのやりとりの他、イベントの写真撮影も業務の一つです。広報誌を通して南知多町の「今」を届けるために、常に新しい情報を収集するように努めています。

地元ではない南知多町で働いてみてどうですか？

町外出身ということもあり、最初は地名が分からないなど慣れないこともありましたが、仕事をする中で覚えることができました。7地区と2島から成り立つ南知多町は、町全体が活気にあふれています。広報誌の取材時には、町民の皆さんの明るい挨拶から毎回パワーをもらっています。



●令和3年度入庁(新卒採用) ●総務課所属



●令和2年度入庁(新卒採用) ●内海保育所所属



●令和元年度入庁(社会人経験者採用) ●産業振興課所属



●平成21年度入庁(新卒採用) ●かるも保育所所属

なぜ南知多町に転職しようと思ったのですか？ 転職してみてどうですか？

全国転勤がなく定住できることや労働時間の面から公務員への転職を志望し、自分の生まれ育った南知多町を選びました。利益を求める民間企業とは異なり、「地域の課題解決」を行う業務は、難しい面もありますが、その分やりがいも大きいです。前職で培ったプレゼン能力や折衝能力は、公務員として働く上でも役立っています。

仕事と育児はどのように両立していますか？

毎日、登庁前に子ども2人を保育所へ送り届け、退庁後は一緒にお風呂に入ること、子どもたちと過ごす時間がとれています。子どもが急に体調を崩した際は、突然のことでも快くお休みを取らせてもらうこともできました。また、子育ての困り事も先輩に相談できるなど、子育て中の私にとって、非常に恵まれた職場環境です。

憧れだった保育士になり、実際の仕事はどうですか？

最初は指導案の作成に緊張していました。上司に相談する中で、子どもの声を拾い、姿を観察した計画を立てて、環境を用意することができるようになりました。いきいきと遊ぶ子どもの姿が見られ、嬉しくやりがいを感じています。反省も多くありますが、成長のチャンスだと思えることができます。

職場の雰囲気はどうですか？

アットホームで優しい雰囲気の中、毎日楽しく保育することができています。職員間で子どもたちの成長を喜び合えることが、保育士になってよかったと思えるときです。また、職員同士もフレンドリーで、気軽に疑問や悩みを相談することができるため、私自身の学びや自信につながっています。

保育士の魅力について教えてください。

子どもの成長をそばで見守ることができることはもちろんですが、園生活の中で子どもたちと一緒に様々な経験をすることが出来ます。毎日、一緒に笑ったり、考えたり、発見したりしていくなかで、子どもたちにとって特別な存在となっていくことが魅力だと感じています。「先生大好き!」と言われることがやりがいへとつながっています。

南知多町の保育の特色について教えてください。

小規模園のため、一人一人と丁寧に向き合い保育をすることができます。子どもの姿や声を大切に、遊びへとつなげています。また、保育士の「やってみたい!」を受け入れてくれるので日々試行錯誤を楽しんでいます。保育士も子どもも楽しく過ごせるのが南知多の保育の良さです!そして、ワークライフバランスがとれる働きやすい職場です。